



2010 年度活動報告書

■研究事業部

2010 年度 第 2 回 HCD 研究発表会

開催日時: 2010 年 12 月 15 日(水)10:30~18:00

開催場所: 産業技術大学院大学

参加人数: 99 名

〔資格認定セッション〕

- ・「認定人間中心設計専門家 2010 年度資格認定に関する説明会」

〔研究発表セッション〕

- ・「行動観察プログラム OBSERVANT EYE のユーザビリティ評価」易 強氏 (静岡県工業技術研究所)
- ・「スマートモバイルデバイス利用による近傍コミュニケーションの様相」飯塚 重善氏 (神奈川大学)
- ・「HDD レコーダユーザの UX 評価の継時的変化と評価構造」安藤 昌也氏 (産業技術大学院大学)
- ・「web ユーザビリティ評価の時間評価研究」鈴木 啓示氏 (東海大学大学院)
- ・「ユーザビリティ評価用コンテンツ領域対応視線分析方法の開発」松延 拓生氏 (和歌山大学)
- ・「コンセプト・リファイン方法の研究(ストーリーボーディングの提案)」浅野 智氏 (横浜デジタルアーツ専門学校)
- ・「研究開発へのHCDの活用」山崎 和彦氏 (千葉工業大学)

〔ポスターセッション〕

- ・「リモートウェブユーザービリティ評価ツール: eMonitor(PC サイト及びモバイルサイト(β)版)の説明」
黒崎 武昭氏 (インターメント)
- ・「イノベーションのためにユーザー調査結果の分析手法の提案」稲葉 貴志氏 (千葉工業大学大学院)
- ・「高齢ユーザーを対象とした製品調査手法の研究」上田 香織氏 (千葉工業大学大学院)
- ・「WARAIPRODUCTS の研究 -世界へ向けた笑いを誘発するプロダクトの研究」
亀井 隆昭氏、山崎 和彦氏 (千葉工業大学)
- ・「ミネラルウォーターの商品企画とそのブランディングと広告展開の提案」黒坂 晋氏 (千葉工業大学)
- ・「ユーザーサーチに基づくコンセプトデザイン発想の研究: KA 法で得た結果の活用法について」
廣瀬 優平氏、安藤 昌也氏 (産業大学大学院)
- ・「ユーザビリティテストにおける操作プロセスの可視化手法がもたらす有効性の研究」篠倉 美紀氏 (エクスカ
ル)
- ・「HCD-net 手法SIGについて」伊藤 潤氏 (HCD-Net 理事: 開発委員会 手法 SIG 準備 WG 担当)

〔事例発表セッション〕

「WEB サービス企業における HCD 導入の現状と展望」

事例 1: 「Ameba における UX 向上の取り組み」 鈴木 千絵氏(サイバーエージェント)

事例 2: 「インターネット事業に適した HCD 活用方法とは? -NHN Japan における取り組み事例より」佐藤 純氏
(NHN Japan)



●Human Centered Design Organization

■教育事業部

第1回教育セミナー「初心者のためのHCD」

開催日時:2010年5月11日(火)18:15~21:00

開催場所:KDDIウェブコミュニケーションズ 会議室

参加人数:39名

〔講師〕

- ・「人間中心設計の基礎」郷 健太郎氏(山梨大学)
- ・「新入社員のためのユーザビリティ評価:入門編」伊藤 泰久氏(U'eyes Design)

第2回教育セミナー「ユーザインタフェースデザインの方法・評価と事例紹介」

開催日時:2010年5月24日(月)14:00~17:00

開催場所:大阪工大大阪センター

参加人数:22名

〔講師〕

- ・「ユーザインタフェースデザイン方法・評価の概観」山岡 俊樹氏(和歌山大学)
- ・「シャープのインタフェースデザイン」倉持 敦子氏(シャープ)
- ・「シャープのユーザビリティと評価」佃 五月氏(シャープ)

第3回教育セミナー「NEM ワークショップ」

開催日時:2010年7月22日(木)13:15~17:15

開催場所:法学館

参加人数:19名

〔概要〕

2009年7月に内閣官房により電子政府ユーザビリティ・ガイドラインが公開され、ユーザビリティに関する理解と実践が以前にも増して重要になっています。

HCD-Netでは、この電子政府ユーザビリティ・ガイドライン中にも

記載されているNEM(Novice Expert ratio Method)について、実習形式でNEMの基礎を学び、業務への応用を考えるワークショップを開催しました。

〔講師〕

- ・ 伊藤 泰久氏(U'eyes Design)
- ・

講演会「サービス設計・評価方法、事例及びオフィスチェアの人間中心設計」

開催日時:2011年1月31日(月)14:00~18:00

開催場所:大阪工大大阪センター

参加人数:7名

〔講演者〕

- ・「サービス設計・評価方法」山岡 俊樹氏(和歌山大学)
- ・「サービス構築例」松波 晴人氏(大阪ガス)
- ・「オフィスチェアの人間中心設計例」八木 圭子氏(イトーキ)



●Human Centered Design Organization

■広報社会化事業部

2010 年度第 1 回 HCD-Net サロン「アドバンスデザインと HCD」

開催日時: 2010 年 4 月 23 日(金)18:30~21:00

会場: ネイバージャパン株式会社内 カフェ

参加人数:43 名

【講師】

- ・有馬 正人氏、井原 亮二氏(セカンド ファクトリー)
- ・石黒 猛氏(デザイナー)
- ・畑中 元秀氏(タクラム デザイン エンジニアリング)

第 2 回 HCD-Net サロン「これからの HCD」

開催日時:2010 年 5 月 21 日(金)18:30~20:50

開催場所:東京ウイメンズプラザ

参加人数:37 名

【講師】

- ・「これからの HCD、規格という視点より」ナイジェル・ベバン氏(Professional Usability Services)
- ・「これからの HCD、人工物発達学の視点より」黒須 正明氏(放送大学)
- ・「これからの HCD についてのディスカッション」
 - 黒須 正明氏(放送大学)-人工発達学という視点より
 - 篠原 稔和氏(ソシオメディア)-DESIGN IT という視点より
 - 長谷川 敦士氏(コンセント)-IA という視点より
 - 山崎 和彦氏(千葉工大)-デザインイノベーションという視点より

第 3 回 HCD-Net サロン「パターンランゲージと HCD」

開催日時:2010 年 8 月 6 日 19:00~21:00

開催場所:クリエイティブスペース amu

参加人数:44 名

【講師】

- ・「パタンランゲージの歴史と意義」中埜 博氏(東京環境構造センター)
- ・「UX デザインのアプローチ」山崎 和彦氏(千葉工業大学)

HCD-Net パーティー in 京都

開催日時:2010 年 9 月 8 日(水)18:00~20:50

開催場所:十二季家 歓 京都店

参加人数:22 名

【概要】

「HCD-Net パーティ in 京都」はヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 の開催に合わせて京都にて実施しました。京都で、「おいしいモノを楽しみながら、おいしいインタフェースの話をする」という企画です。



●Human Centered Design Organization

第4回 HCD-Net サロン「感性とHCD」

開催日時:2010年11月10日(水)18:30~21:00

開催場所: KDDI ウェブコミュニケーションズ

参加人数:37名

〔講師〕

- ・「Authentic Experiences」平田 智彦氏
- ・「場と感性」須田 富士子氏

第5回 HCD-Net サロン「デザイン思考とHCD」

開催日:2010年11月25日(木)19:00~21:00

開催場所:クリエイティブスペース amu

参加人数:45名

〔パネリスト〕

- ・田村 大氏(東京大学 i.school)
- ・佐々木 千穂氏 (インフィールドデザイン)
- ・山崎 和彦氏(千葉工業大学)
- ・長谷川 敦士氏(コンセント)

人間中心設計フォーラム 2010-組込型ソフトウェアのためのユーザビリティと事例-

開催日時:2010年12月1日(水)10:00~12:00

開催場所:パシフィコ横浜

参加人数:200名

〔講演者〕

- ・「NECにおける人間中心設計へのアプローチと事例」河野 泉氏(日本電気)
- ・「EpsonにおけるモバイルビジネスプロジェクターのHCD開発事例」木村 祐介氏 (セイコーエプソン)
- ・「京セラにおける人間中心設計へのアプローチと事例」渡辺 英範氏 (京セラ)
- ・「これからの人間中心設計のアプローチとは」山崎 和彦氏 (千葉工業大学)

HCD-Net 賛助会員様向けイベント「HCD とビジネス」

開催日時:2011年1月13日(木)13:30~20:00

開催場所:首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

参加人数:42名

〔講演者〕

- ・「ビジネス・エスノグラフィによる生活者研究の実践」井上 紀子氏(花王)
- ・「富士通におけるエスノグラフィの活用」岸本 孝治氏 (富士通)
- ・「エスノグラフィの調査と実践の応用」原 有希氏 (日立製作所)

第6回 HCD-Net サロン「インタラクションとHCD」

開催日時:2011年1月21日(金)17:00~20:00

開催場所:京都工芸繊維大学

参加人数:82名



【講演者】

- ・「インタラクションとHCD」山崎 和彦氏（千葉工業大学）
- ・「オーバルにおけるインタラクションデザインの事例」田輪 恭久氏（オーバルプラン）
- ・「シャープにおけるUI開発の事例とUIへのアプローチについて」福田 江貴氏（シャープ）
- ・「インタラクションデザインの現場 ― 現在とこれから」八田 晃氏（ソフトデバイス）

【パネル発表】

- ・「NECにおける人間中心設計へのアプローチと事例」河野 泉氏（日本電気）
- ・「京セラにおける人間中心設計へのアプローチと事例」長谷川 純一氏（京セラ）
- ・「シスメックスにおける人間中心設計へのアプローチと事例」三島 義博氏（シスメックス）
- ・「自社開発の iPad アプリ、RecFinger」中内 淑文氏（ユニックスデザイン）
- ・「ユーザビリティ評価手法 SUM とそのソフトウェアの紹介」上原 信哉氏（和歌山大学）
- ・「情報操作機器におけるフローデザインパターンの構築および提案」和田 智紀氏（和歌山大学）
- ・「コンセプト・リファイン方法の研究 ―ストーリーボーディングの提案」浅野 智氏（横浜アーツ専門学校）
- ・「経営?組織デザインに生かす HCD ―ペルソナ手法の活用」吉井 誠氏（アイ・エス・ティ）
- ・「サイト固有のカテゴリ構造を考慮したサジェストインタフェースの提案」木村 久美子氏、堀 雅洋氏（関西大学）
- ・「利用者参加型のスポーツ遊具開発 ユニビークル」梶川 伸二氏（GK 京都）
- ・「シスメックスにおけるペルソナによる開発プロセスへのアプローチ」水本 徹氏（シスメックス）
- ・「弁当様式のインタフェース:PHOTO Bento」アレックス・コバチ氏、ポール・ワラントン氏、岡澤佳恵氏、中内菜都花氏（京都工芸繊維大学）
- ・「HCD とインタラクションに関連する活動」山崎 和彦氏（千葉工業大学）



●Human Centered Design Organization

■開発事業部

・手法SIG発足

ニュースレター6 月にて 手法SIG準備活動を呼び掛け

・2010 年度 手法SIG準備キックオフ

9 月 13 日 ソニー品川TECにて開催

・Method Table の翻訳作業に着手

・手法SIG発足を案内しメンバー募集開始

2010 年度 第 2 回 HCD 研究発表会

開催日時:2010 年 12 月 15 日(水)10:30~18:00

開催場所:産業技術大学院大学

以上



●Human Centered Design Organization

■規格化/認定事業部

HCD-Net フォーラム 2010「User Experience が切り開く HCD の未来」

開催日時:2010 年 6 月 12 日(土)13:00~17:30

開催場所:東海大学 高輪校舎

参加人数:130 名

〔講演〕

・「User Experience とサービス原則」北島 宗雄氏(独立行政法人産業技術総合研究所)

〔パラレルセッション〕

セッション A: サービス利用者の UX 計測・モデル化の事例

北島 宗雄氏(独立行政法人産業技術総合研究所)

田平 博嗣氏(U'eyes Design)

セッション B: ユーザエクスペリエンス(UX)から実利用経験(RUX)へ-ISO13407 から ISO9241-210 への改訂に寄せて

黒須 正明氏(HCD-Net 理事)

安藤 昌也氏(HCD-Net 理事)

セッション C: アドバンスドデザインにおける UX アプローチ

松原 秀幸氏(HCD-Net 理事)

畑中 元秀氏(takram design engineering)

石黒 猛氏(石黒猛事務所)

セッション D: アジャイル UX の潮流

樽本 徹也氏(HCD-Net 理事)

川口 恭伸氏(QUICK)

■第 2 期「人間中心設計専門家」資格認定

〔審査結果〕

人間中心設計推進機構(HCD-Net)が、
世界に先駆け昨年より実施している「人間中心設計専門家」

資格認定の第 2 期審査が完了しました。

今年度は、60 名の方々が人間中心設計専門家として認定されました。

内訳は HCD-Net 正会員 6 名、一般 54 名です。

昨年は 119 名の方々が専門家として認定されましたが、

今年は昨年より受験者数が減っているため、認定者数も減っています。

〔審査経緯〕

今年度は、以下の日程で資格審査を行いました。

詳細告知:2010 年 12 月 1 日

募集要項公開:2010 年 12 月 20 日

申込開始:2010 年 12 月 20 日

申込締切:2011 年 1 月 11 日



申請書類提出締切:2011 年 2 月 1 日

合格発表:2011 年 3 月 31 日

今年度は、審査員講習会を 2 回、受験者向け説明会を1回開催しました。

審査員講習会は、審査のばらつきをより少なくするためと、審査要領を各審査員により正確に理解いただくことで、審査精度と効率の向上を狙いにしました。また、受験者向け講習会では、制度の趣旨や認定専門家の役割などを理解していただきました。いずれの会も数多くの方の参加がありました。

【人間中心設計専門家のコンピタンスの見直し】

人間中心設計専門家に求められる業務も次第に高度化していることや第1期の審査結果を踏まえ、今年度は人間中心設計専門家に必要とされるコンピタンスの見直しを行いました。新たに「HCD 適用・開発能力」として、「組織への導入推進能力」2 項目および「研究開発能力」2 項目を追加し、必須コンピタンスとして記述できるようにしました。

さらに、知識項目を整理し、「品質管理に関する知識」「ソフトウェア工学に関する知識」「テクニカルコミュニケーションに関する知識」「マーケティングに関する知識」を項目として追加しました

(改訂されたコンピタンス項目の詳細はサイト内のコンピタンスマップを参照ください)。

【審査過程における課題】

昨年の課題を踏まえ、今年度も1人の受験者に対して、複数の審査員が厳正な審査を実施しました。

最終的には、資格認定審査委員会において、各審査委員の審査基準の判断の揺れに個別に対応いたしました。

審査過程では、大学における学部時代の実績をどのように評価するか、プロジェクトにおける申請者の役割分担や求められるコンピタンスに対する的確な実践に関する記述方法、マネジメントに関する経験不足などが話題になりましたが、より適正な判断に努めました。

今後も、受験者説明会、審査員講習会等を通じて、申請側、審査側双方の記述、審査精度向上に努めてまいります。

【第3期以降に向けて】

本資格は、HCD-Net が人間中心設計実践において定めた一定の基準を充たしたことを認めるものであり、資格を認定された方は、今まで以上に人間中心設計の実践に励まれるとともに、啓蒙普及にご尽力いただくようお願いいたします。

また、今回基準に満たなかった方々も、なお一層の実践を通じたスキルの獲得、知識の習得により専門家に認定される方々ばかりと認識しておりますので、次回以降の再申請を心よりお待ちしております。

昨年資格を取得された認定専門家の方々は、今年で2年目になります。この制度は、3年ごとに更新する仕組みになっています。人間中心設計分野での実践、知識の習得などを通じて、更新時に必要なポイントを獲得し、継続して資格を維持できるようお願い申し上げます。

来年は第3期を迎えますが、認定専門家制度の一環として「人間中心設計準専門家(仮称)」資格制度、「人間中心設計検定(仮称)」制度の検討も開始されました。制度の内容が、具体的になりましたら、関係される皆さまにもお知らせいたします。

最後になりましたが、審査にあたり昨年度の認定者の方々をはじめ、関係される方にご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。



●Human Centered Design Organization

■国際事業部

World Usability Day 2010 Japan

開催日時: 2010 年 11 月 10 日(水)14:00~17:30

開催場所: 東京インタラクティブセンター

参加人数: 37 名

【講演者】

- ・「海外ユーザーリサーチからみた携帯利用の実態」市川 文子氏(東京ストーリーズ)
- ・「コミュニケーションサービス Ameba における UX 向上の取組み」大塚 敏章氏 (サイバーエージェント)
- ・「オフィスコミュニケーション支援ツール wivia の開発-製品開発におけるユーザー中心設計の実践と課題」大丸 晃平氏 (内田洋行)
- ・「グループウェア Cybouz による組織内のコミュニケーション支援-地方自治体への導入事例から」

青田 智徳氏 (サイボウズ)

【パネルディスカッション】

「日本におけるコミュニケーションを支援する製品・サービスの現在・未来」 司会: 篠原 稔和氏(ソシオメディア)